



笑顔いっぱい いのちかがやけ 花園の子

# 花園

小樽市立花園小学校  
学校だより No. 12  
令和8年2月26日 ↓ 本校 HP

☎ 25-5233  
Fax 25-5234



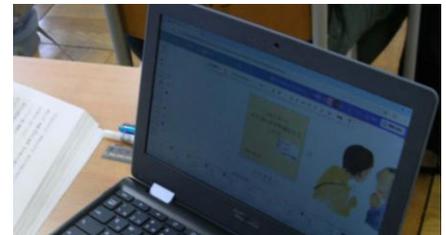
## 「昭和」をふりかえって感じたこと

校長 五十嵐 幸

1月は「行く月」、2月は「逃げる月」、3月は「去る月」と言いますが、これは1月から3月までは正月の行事や年度末の忙しさであっという間に過ぎ去ってしまう、という時間の経過の早さを表現した慣用句です。学校では、この時期も学習内容をしっかり学習していきます。

さて、最近テレビを見ていると、昭和時代のものがよく取り上げられていると感じています。昭和の頃の歌とか流行ったことなどが取り上げられていると、つい懐かしく見てしまいます。昭和という時代は少し前とっていましたが、その後の平成が30年続き、さらに令和の時代となったのですから「昭和は遠くなりけり」だどつくづく感じる次第です。

そんな昭和の頃のもので思い出したのは「自動車」のことです。昭和の頃の自動車はみんな個性的なデザインをしていました。そのため街を走っている自動車を見ても、「カローラだ、サニーだ、ファミリアだ、スカイラインかっこいいな」なんてすぐにわかりました。しかし、今の自動車は皆、流線型で似た形なのでちょっと見ただけでは見分けが付きにくいと感じています。これはどこの自動車会社もコンピュータなどのシミュレーションで風の影響を調べる流体力学などに基づいて設計しているためだと聞いています。そして、今はコンピュータという言葉ではなく AI の発達により生活の隅々まで電子化されて便利になりました。しかし、その一方で個性がなくなり均一化が進んでいるように感じています。



さて、教育の世界でも ICT の活用が一段と進むようになってきました。文部科学省も一人一台のタブレット端末を配布し（小樽市では4月には新しいタブレットに更新）、デジタル教科書の導入を進めるなど、ますます ICT の活用が進んでいきます。確かにこれからの時代を考えると社会は AI の活用が当たり前になり、ICT の活用能力を身につけているかどうかで未来を左右するといっても過言ではないでしょう。しかし、ICT の活用が世界的な動きであっても、これまで日本の教育で培ってきたことにも大切なことはたくさんあります。例えば清掃活動をする。以前アメリカの学校に視察に行ったことのある先生が、そのアメリカの学校の教員に日本の学校で清掃活動があることを紹介すると驚いていたそうです。きれいにするのは清掃員の人の仕事を奪うことになるかと考えているようで、自分たちできれいにしようという意識は感じられなかったようです。今サッカーなどスポーツの世界大会などで日本人が競技場のゴミ拾いをするのが世界的に称賛されています。こうした行動もそれぞれが学校生活で身についた習慣であるから多くの日本人が取り組んでいるといえるのではないのでしょうか。また、栄養バランスを考えた給食を柱とする食育ということも海外ではあまり見られない大切な日本の学校文化であると言えます。

このように、これからも何が大切なのかを考え、教育における ICT の利活用という世界の大きな流れだけにとらわれずに取り組んでいくことを心掛けていきたいと考えています。



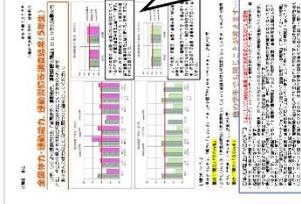
日	月	火	水	木	金	土
3/1	2 全校朝会 5-1, 6-1 6時間	3 学校開放中止 (4月10日まで)	4 お話の会(5・6年) 森スクールカウンセラー来校	5 職員会議 PTA役員会	6 6年生卒業式練習① フッ化物洗口	7
8	9 1年1組 保護者会 5-1, 6-1 6時間	10 6年生卒業式練習②	11 6年生卒業式練習③ 在校生卒業式練習①	12 6年生卒業式練習④ 在校生卒業式練習②	13 (中学校卒業式)	14
15	16 卒業式全体練習① 5-1, 6-1 6時間	17 卒業式全体練習②	18 卒業式前日準備 SC 6年生通知表配布 4・5年生5時間	19 卒業式 3時間	20 春分の日	21
22	23 B日課 4時間授業(給食あり) 大掃除	24 修了式・離任式 3時間	25	26	27	28

## 後期・保護者アンケートの結果

後期アンケートのご協力ありがとうございました。今回は、前期のアンケート結果と比べての結果をお知らせします。3月になりましたら、「tetoru」にてデータの公表をします。お時間のある時に一度目を通していただきたいと思います。各家庭から頂いたご意見等をいかし、次年度の学校経営充実に向けて全職員で頑張っていきます。

### 不審者侵入時の避難訓練

今年度も校内に不審者が侵入したことを想定して、カギのかかる教室に身を隠す訓練を行いました。どの学年も、身を潜めて静かに避難することができました。体育館では、警察署の方の講話と不審者が近づいてきたときの対応について学びました。



## 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

### から本校児童を分析

最近、「運動離れ」の子が増えていると言われています。

本校5年生児童の結果から、「平日に学習以外でスマートフォンやゲーム機などの画面を見ている時間」において、「2～5時間」と答えた男子の割合が全国・全道平均を大きく上回っています。女子においては、「6時間」と答えている割合が全国・全道平均を上回っています。

スクリーンタイムの管理と運動時間の確保を心がけて生活することが大切です。まずは、「早寝・早起き・朝ご飯」を基本に、生活習慣を見直してみよう。

昨日、別紙で配布した内容とtetoruで2/10に配信した「健康やかな体をばぐむために」を併せてご確認ください。

